

# 令和3年度三重県立公衆衛生学院学校関係者評価結果報告書

令和4年4月

## 1 学校関係者評価の実施

学校関係者評価の実施にあたって、令和4年3月17日に三重県立公衆衛生学院学校関係者評価懇話会を開催し、令和3年度を評価対象期間とする「令和3年度三重県立公衆衛生学院自己評価結果」について説明し、自己評価結果に対するご意見をいただきました。

評価結果は本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学院運営の改善に活かし、これらの質の向上に努めることとします。

## 2 学校関係者評価員

所 属	役職名	氏 名
三重大学大学院医学系研究科 基礎医学系講座幹細胞発生学分野	教 授	山崎 英俊
公益社団法人三重県歯科医師会	常務理事	福森 哲也
特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会	副会長 (会長代理)	久保田加寿美
三重県立公衆衛生学院後援会	会 長	駒田 ひかり

## 2 学校関係者評価結果の活用

学校関係者評価結果及び自己評価結果については、ホームページにおいて公表します。

また、教職員は、今回の結果を活用し、教育活動及び学院運営等の質の保証と向上に努めていきます。

## 3 評価項目等に対する意見

別紙のとおり

別紙

	学校関係者評価員の意見	今後の取り組み等
重点目標	<p>学生が卒業後、歯科衛生士として活動するためのモチベーション向上につながるような取組を行ってはどうか。</p>	<p>様々な場で活動している卒業生を招聘し、学生に業務内容を講義したり、フリートークを行うことで将来のキャリアをイメージする機会を設ける。</p> <p>最終学年で関心を持ったテーマについて卒業研究を行うことで専門的な知識を深めることができるため、今後の活動に役立つ。</p>
(4)学修成果	<p>卒業生の状況を把握するために、同窓会やSNS等を活用してはどうか。</p> <p>学院の強みを外向けにアピールするような取組(例えばホームページに掲載する等)を行ってはどうか。</p>	<p>同窓会を活用し、卒業生との連絡手段を確保し、状況を把握していきたい。</p> <p>また、ホームページの充実をめざしたい。</p>
(5)学生支援	<p>卒業生の把握はどうしているか。キャリアアップや復職支援等を行うため、同窓会組織をもっと活用してはどうか。</p> <p>リカレント教育は実施しないのか。</p>	<p>同窓会を活用し、卒業生との連絡手段を確保することでキャリアアップ研修等の周知などを行い卒業生の支援につなげていく。</p> <p>リカレント教育は財政的、制度的に難しいため、卒業後の研修等で支援を行いたい</p>
(6)教育環境	<p>学生にとって不利益が生じないよう、実習施設の連携拡大を検討すべきではないか。</p>	<p>学生の利便性を考慮して、新たな実習施設を検討し、実習を行う。</p> <p>また、実習先医療機関と情報共有を図るため、1年に1回、検討会を実施している。</p> <p>今後も学生に不利益を生じないように実習施設との連携を図る。</p>
(7)学生の受入れ募集	<p>受験倍率が上がっているが、今後の需要見込みはどうか。</p>	<p>県内の歯科医院では歯科衛生士が不足している状況が多くみられる。引き続き、高校訪問を行うなど歯科衛生士の必要性に対する理解を促進し、人材育成を行っていく。</p>

